

## スクールゾーン等の交通安全対策例



実施項目	具体的内容
周知徹底・PR	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周知看板設置，リーフレット，広報誌等による周知・啓発活動</li> <li>・交通安全運動の推進</li> </ul> 
児童，生徒の安全教育等（PTA，魅力ある学校地域協議会，地域まちづくり組織等との連携）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全教室の開催（関係機関・団体等との連携）</li> <li>・*1スクールガード等による立哨・巡回活動の実施</li> <li>・スクールゾーンマップの作成・活用など（危険箇所の確認，安全指導）</li> </ul>  
交通安全施設等の整備，設置，補修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路面標示 ・路側帯カラー化 ・外側線 ・車線分離標</li> <li>・ガードレール ・カーブミラー ・*2ハンプ ・狭さく 等</li> </ul>   
交通規制，標識等の設置安全施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通規制（時間帯進入規制，速度規制，*3ゾーン30等）</li> <li>・通学時間帯の取締り強化</li> <li>・横断歩道，交通標識の設置 ・道路標示の設置，補修</li> </ul>    
交通安全確保備品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横断旗（缶）の設置，補充</li> </ul> 

\*1 スクールガード：各学校に所属している，保護者や地域の方々などによる学校安全ボランティアの総称

\*2 ハンプ：自動車の走行速度を低下させるために車道路面に設けた凸部。

\*3 ゾーン30：一定のエリアにおいて最高速度を時速30kmに規制するゾーンを策定し，その区域内の歩行者などの安全を確保する交通施策